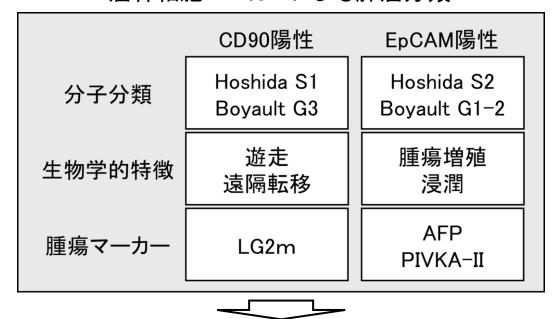
肝癌幹細胞研究グループ

- 肝癌幹細胞研究グループでは、肝癌の源である癌幹細胞を研究し、癌 幹細胞マーカーにより分類した肝癌の特徴を研究し、タイプ毎の新薬の 開発をめざしています。また、肝癌(消化器癌)の新しいバイオマーカー 開発を行っています。
- これまでに、肝癌を癌幹細胞マーカーであるEpCAMとCD90の発現で分類してその特徴を明らかにしてきました。近年では、CD90陽性肝癌に高発現するラミニンγ2単鎖(LG2m)が肝癌の診断や予後予測、発癌予測のバイオマーカーとして有用であることを報告しました。
- 現在は、肝癌の腫瘍微小環境解析や免疫抑制環境のメカニズム解析、 癌免疫療法の効果予測バイオマーカーの開発を重点的に行っています。
- 2025年には肝癌幹細胞の上皮間葉転換に関する論文がCell Death
 & Disease誌に掲載されました。

癌幹細胞マーカーによる肝癌分類



治療開発

腫瘍微小環境解析

バイオマーカー開発